

討論 (要旨)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

<議案第2号について>

諸派 (日本共産党) 石田 秀三 議員

議案第2号に賛成

一般会計補正予算(第7号)の各事業は物価高騰対策であり賛成するが、9月補正で私立保育所と学校の給食費を一般財源で支援したものを、今回、国の交付金に財源更正するのは、交付金の趣旨と異なると考える。



<議案第3号～議案第34号について>

諸派 (日本共産党) 高橋 さつき 議員

議案第3号・議案第4号・議案第14号・議案第24号に反対 その他議案は賛成

物価上昇が続き生活が大変な中、市民には国民健康保険料約10%増額、給食費も値上げし、市民負担を増やし、特別職の給料・報酬を引き上げるのは問題。配慮すべきは負担を増やさず市民の生活を守ることである。



自由民主党 鈴鹿市議団 森 雅之 議員

全議案に賛成

鈴鹿市東京事務所は中央官庁その他各種団体との連絡調整や政策実現に資する情報収集をより効率的・効果的に行い、首都圏におけるトップセールスやシティプロモーションを推進するための拠点として必要。



市民の声 市川 哲夫 議員

議案第11号に反対

鈴鹿市子ども条例の策定に当たっては、骨子案ではなく、前文が記載された条例案でのパブリックコメントを実施しなければ「鈴鹿市意見公募手続要綱」を遵守したことにはならないと考える。



諸派 (公明党) 藤浪 清司 議員

全議案に賛成

議案第11号鈴鹿市子ども条例の制定について、条例は作って終わりではなく、今後子どもの権利、特に意見表明の権利、意見の尊重、施策への反映について全庁的に理解を深め実行することが重要である。



市民の声 中西 大輔 議員

全議案に賛成

議案第11号鈴鹿市子ども条例の制定について、条例案提出に至る過程で議会軽視や市民軽視の大きな懸念があり、葛藤したが、市長以下の強い意志と覚悟があると受け取ったことと、将来への可能性から賛成する。

